

だいず用 茎葉処理除草剤

大豆バサグラン[®]

液剤

(ナトリウム塩)

®=BASF社の登録商標

最先端の栽培管理支援システム

xarvio[®] (ザルビオ) フィールドマネージャー



大豆バサグラン液剤の特長



大豆生育期処理で優れた効果

大豆2葉期から開花前まで使用できます。また、畦間散布では大豆生育期に使用できます。

処理適期幅がきわめて広い

広葉雑草の生育初期から6葉期まで使用できる、広い処理適期幅を有します。

広葉雑草に高い効果

水田転作畑で問題となっているアメリカセンダングサやタデ科・アブラナ科雑草等、広範囲の広葉雑草に高い効果を発揮します。

環境に対して優しい

人畜毒性(普通物)、魚毒性(A類相当)は低く、鳥類等有用生物に対する影響もほとんどありません。



薬害を生じるため、使用に当たっては注意が必要です。

本剤の使用により、大豆の葉に斑点、色抜け、黄変、縮葉症状の一過性の薬害を生じます。薬害の程度および薬害の回復は品種により異なり、減収することもあるので、薬害の程度を十分に確認してから使用してください。(品種別薬害程度は裏面参照)

■初期薬害の症状(150mℓ/10a処理)



エンレイ: 2~3葉期処理(処理7日後)



エンレイ: 2~3葉期処理(処理3日後)



タチユタカ: 2~3葉期処理(処理5日後)

大豆バサグラン[®]液剤

(ナトリウム塩)

農林水産省登録：第21486号

除草剤分類 6

●有効成分：ベンタゾンナトリウム塩(ベンタゾン)・・・40.0% ●人畜毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指すという通称)

■適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当たりの使用量		本剤の使用回数	使用方法	ベンタゾンを含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量			
だいず	一年生雑草 (イネ科を除く)	だいずの2葉期～開花前(雑草の生育初期～6葉期) 但し収穫45日前まで	100～150ml	100ℓ	1回	雑草茎葉散布 又は全面散布 (※)	2回以内 (畦間処理は 1回以内)
		だいずの生育期(雑草の生育初期～6葉期) 但し収穫45日前まで	300～500ml			畦間雑草 茎葉散布	

※使用方法の表記が変更になりましたが、従来通りの方法でご使用できます。

薬害助長要因



薬害の助長を防ぐために次の点に留意し、特に本剤を初めてお使いいただく場合や新品種等に用いる際は、必ず農業指導機関の指導を受けてください。

1. 重複散布はしないでください。
2. 高温時や、日照が強く蒸散が盛んな場合は、低薬量(100ml/10a)でお使いください。
3. 生育不良の大豆には使用を避けてください。
湿害、低温、病虫害(センチュウ害を含む)および肥料・地力不足で大豆の生育が不良な場合は、使用を避けてください。
4. 他剤との混用は避けてください。
殺虫剤・殺菌剤との混用および展着剤の加用は、薬害が助長された試験事例があるので避けてください。
5. 有機リン剤;エチルチオメトン粒剤(播種時使用)との組み合わせ処理で、薬害が強く出た試験事例がありますので、留意してください。

■大豆バサグラン液剤の試験事例からみた品種別薬害程度

大豆バサグラン液剤は大豆の葉に初期薬害が生じますが、その程度は品種によって大きく異なります。

*：10%以上の減収となった報告事例がある品種

試験地域	無	品種別薬害程度	最大
北海道		いまいくろ	
		音更大袖	
		キタムスメ	
		スズマル	
		タマフクラ	
		ツルムスメ	
		トヨコマチ*	
		トヨハルカ*	
		トヨムスメ*	
		ユウヅル	
		ユキシスカ	
		ユキホマレ*	
東北		青丸くん*	
		エンレイ	
		おおすす*	
		オクシロメ*	
		コケシロ*	
		コスズ*	
		スズカリ	新2号*
		すすざやか*	
		鈴の音*	
		スズユタカ	
		タチナガハ	
		タチユタカ*	
		たまうらら	
		タンレイ	
		トモユタカ*	
		ナンブシロメ*	
		ネマシラズ	
		ハタユタカ	
		ふくいびき*	
		フクシロメ*	
		ミヤギシロメ	操*
		ユキホマレ*	山白玉*
		ゆめみのり*	
		リュウホウ*	
試験地域	無	品種別薬害程度	最大
北陸		あやこがね*	
		エンレイ	
		オオツル*	
関東・東海		あやこがね*	
		いちひめ	
		オオツル*	
		エルスター	
		エンレイ	
		ギンレイ	
		サチユタカ	
		すすおとめ*	
		すすこまち*	
		タチナガハ	
		タチユタカ*	
		たまうらら	
		玉大黒	
		タマホマレ*	
		ナカセンナリ*	
		納豆小粒*	
		ハタユタカ	
		ヒュウガ	
		フクユタカ	
		ほうえん	
近畿・中国・四国		ワセシロゲ*	
		アキシロメ	
		エンレイ	
		オオツル*	
		サチユタカ	
		新丹波黒	
		タマホマレ*	
		トヨシロメ	
		ニシムスメ	
		フクユタカ	
九州		サチユタカ	
		フクユタカ	
		むらゆたか	

注)公的試験またはそれに準じる試験事例から作成(1989～2008年)

●薬量：100～150ml/10a

●処理時期：大豆2葉期～開花前



使用上の注意事項

- だいずの品種によっては薬害により減収する場合があるので、**本剤の使用に当たっては、病虫害防除等指導機関の指導を必ず受けてください。**
- 本剤の使用により、だいずの葉に斑点、色抜け、黄変、縮葉症状の一過性の薬害を生じます。また、薬害の程度および薬害の回復は品種により異なり、減収となる場合もあるので、**使用者の責任において事前に使用品種における薬害の程度を十分確認してから使用してください。**また、新2号、操、山白玉では、強い薬害が発生するので、使用を避けてください。
なお、次の品種では本剤の使用により減収となった事例が報告されています。
 - タチユタカ、ゆめみのり、オオツル、オクシロメ、コケシロ、コスズ、すすおとめ、すすこまち、タマホマレ、トヨコマチ、トヨハルカ、トヨムスメ、ナカセンナリ、納豆小粒、ナンブシロメ、フクシロメ、ユウヅル、ユキホマレ、ワセシロゲ
- 薬害を助長するので、重複散布はしないでください。また、以下の場合には薬害を助長することがあるので、使用は避けてください。
 - ① 著しい高温が続く場合
 - ② 日射が強く、蒸散が盛んな場合
 - ③ 低温、湿害、肥料不足等によりだいずが生育不良の場合
- イネ科雑草には効果がないので、イネ科雑草の優占圃場での使用は避けてください。また、イネ科雑草が混在する場合は、これらに有効な除草剤との体系で使用してください。
- アカザ科、ヒユ科の雑草には、低薬量では効果が劣るので、これら雑草の優占圃場では、畦間雑草茎葉散布で使用してください。
- トウダイグサ科の雑草には効果が劣るので、この雑草の優占圃場では使用しないでください。
- 散布後、曇天、降雨日が長く続くと効果が劣ることがあるので、留意してください。
- 周辺作物にかからないように注意してください。
- 雑草茎葉にかかるよう、まきむらのないように均一に散布してください。

●えだまめには使用しないでください。

●本剤は、雑草害による大幅な減収が予想される場合に使用してください。



安全使用上の注意事項

- 誤飲などのないよう注意してください。
 - 眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。使用後は洗眼してください。
 - 皮膚に対して弱い刺激性があるので、皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすしてください。
 - かぶれやすい体質の人は、取扱いに十分注意してください。
- 保管：直射日光を避け食品と区別して、なるべく低温な場所に密栓して保管してください。

①使用前にはラベルをよく読んでください。②ラベルの記載以外には使用しないでください。③本剤は小児の手の届く所には置かないでください。④空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。

本資料の記載内容は2023年11月現在の登録内容に基づいています。

BASFジャパン株式会社

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号 OVOL日本橋ビル3階

☎0120-014-660 <https://crop-protection.basf.co.jp/>

4703006 6
202311